

# 越谷市の

# ざいせい状況

〈平成29年度下半期〉

## 主な内容

一般会計予算の執行状況	2～4
特別会計予算の執行状況	5
市債現在高の状況	6
一時借入金の状況	7
財産の状況	7
財政状況等一覧表	8～9
平成28年度決算財務書類	10～11

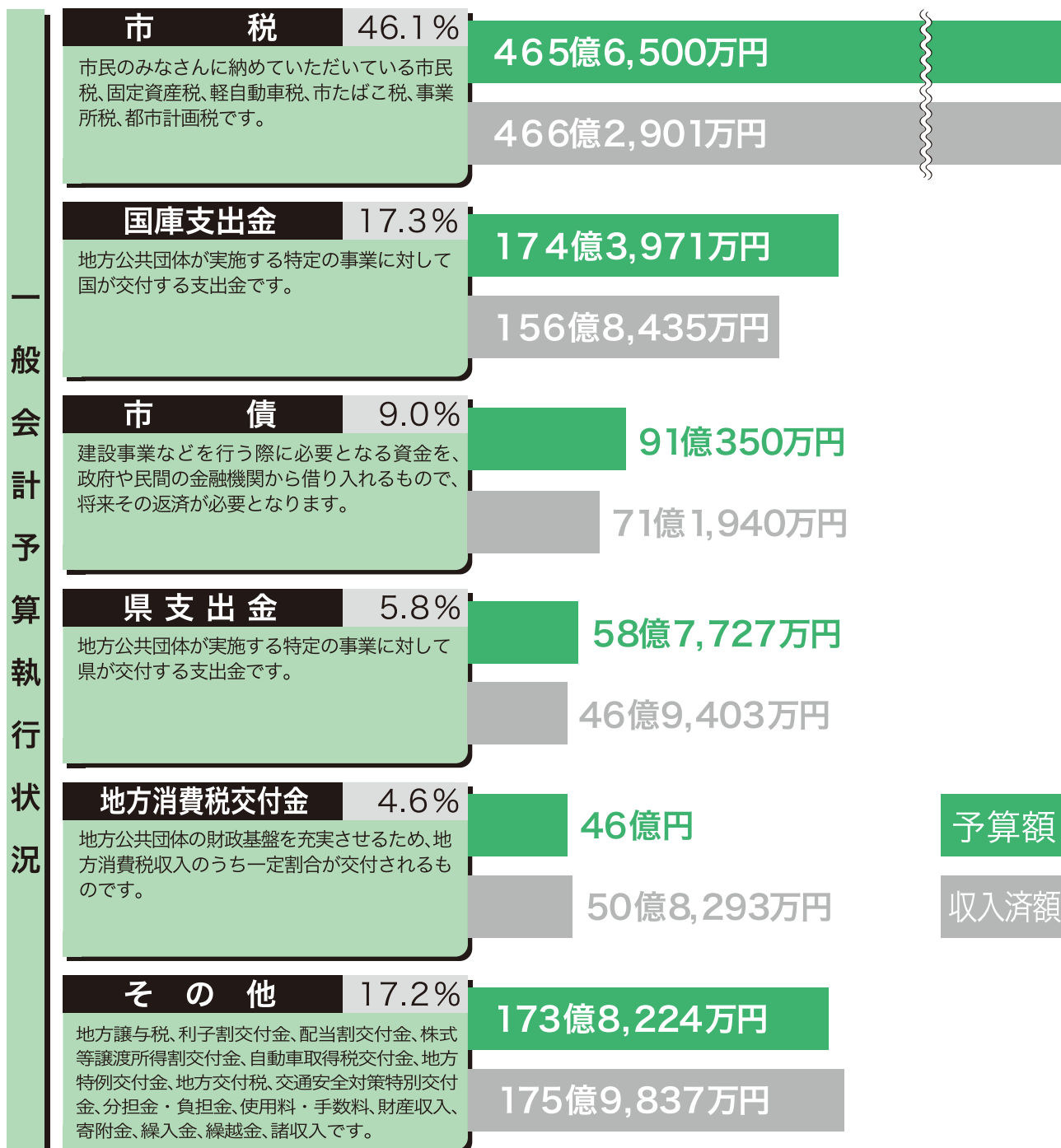
# 平成 29 年 度

市では、年2回越谷市の財政状況を公表しています。今回、公表するのは平成

## 一般会計

一般会計は、越谷市の行政運営の基本的な経費を中心に計上されたものです。平成29年度の予算額は1,009億6,772万円（繰越事業を含む）であり、その執行状況（収入・支出済額）は平成30年3月31日現在、次のとおりです。なお、歳入・歳出とも、出納整理期間（平成30年4月1日～5月31日）に執行されるものがあるため、予算と執行において大きな差を示しているものがあります。

### 歳 入



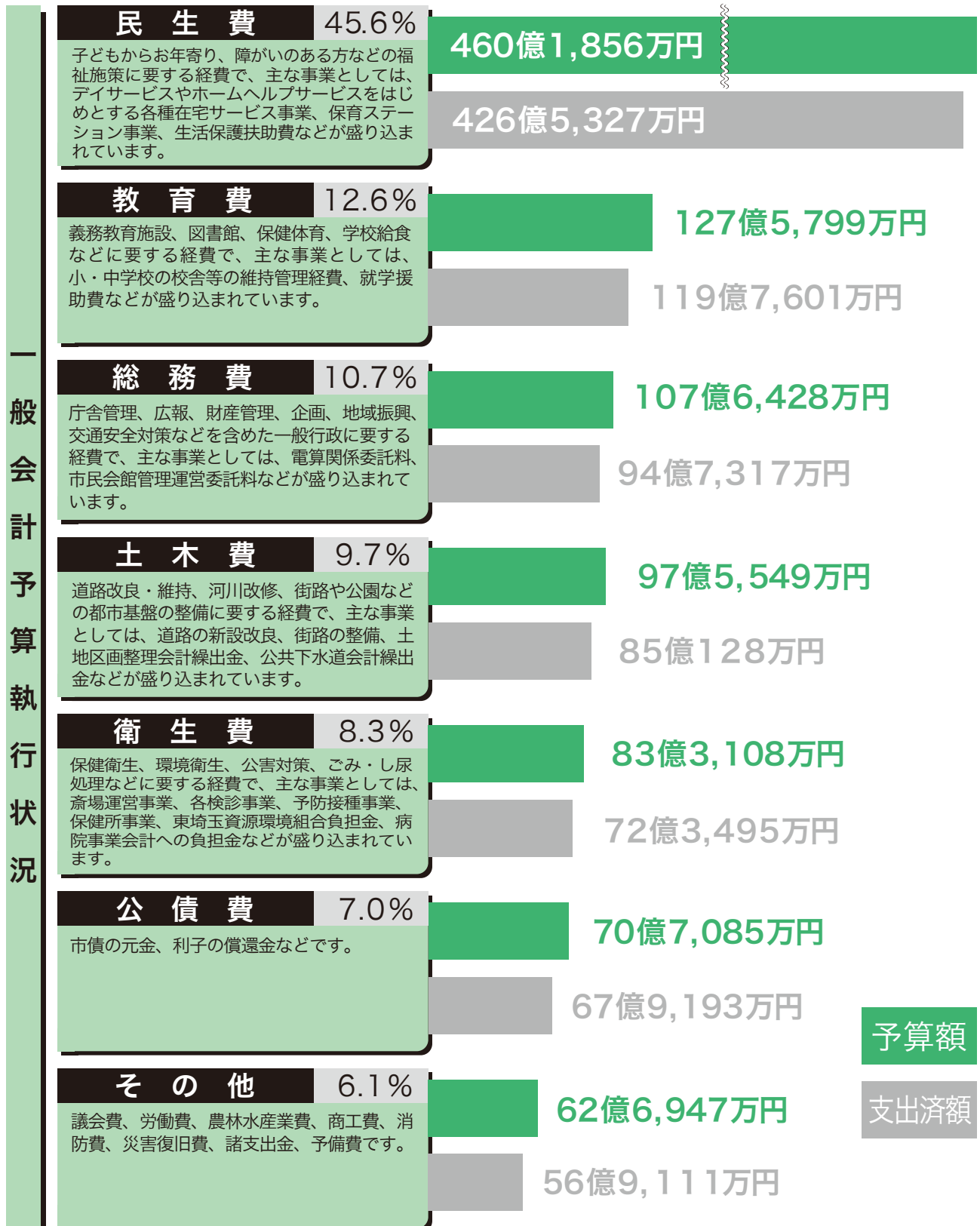
は構成比

※金額は調整の上、1万円単位で表示しています。

# 予算執行状況

29年度下半期（平成30年3月31日現在）の執行状況です。

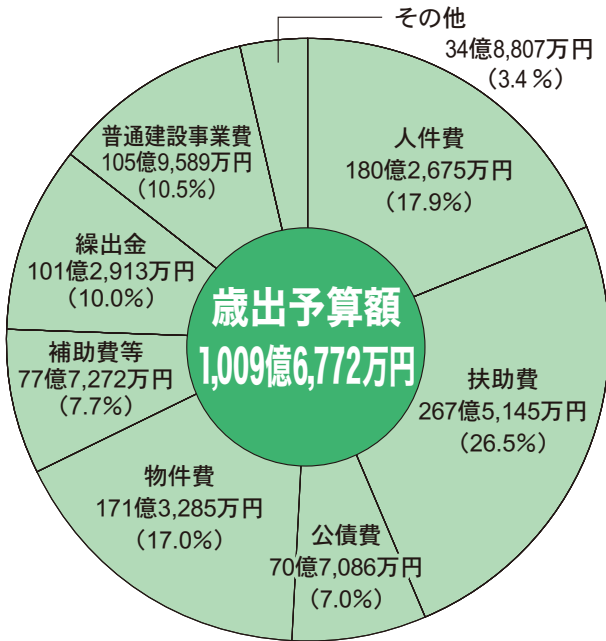
## 歳出



は構成比

## 歳出予算の 性質別割合

歳出予算をその経済的性質を基準として分類するもので、地方公共団体の財政の体質分析の指標となり、この分類の結果から財政運営の指針を見いだすことができます。平成29年度予算を性質別に分類すると次のとおりです。



- 人件費(職員の給与など)
- 扶助費(各種福祉サービスを提供する経費など)
- 公債費(市債の元利償還金など)
- 物件費(委託料や備品購入費など)
- 補助費等(負担金や補助金など)
- 繰出金(特別会計への繰出金)
- 普通建設事業費(学校や道路、公園などを建設する経費)
- その他(維持補修費や貸付金など)

## 市民1人 当たりの予算額

平成29年度の歳出予算額と市税予算額を市民1人当たりに換算すると、それぞれ次のとおりです。

(平成30年3月31日現在の人口 341,095人)

市民1人当たりの歳出予算額 296,011円						
民生費 134,914円	教育費 37,403円	総務費 31,558円	土木費 28,601円	衛生費 24,425円	公債費 20,730円	その他 18,380円

市民1人当たりの市税負担額 136,516円					
市民税 67,213円	固定資産税 53,020円	軽自動車税 929円	市たばこ税 6,582円	事業所税 1,964円	都市計画税 6,808円

## 【平成29年度の市税予算額 465億6,500万円】

- 市民税 229億2,600万円
- 固定資産税 180億8,500万円
- 軽自動車税 3億1,700万円
- 市たばこ税 22億4,500万円
- 事業所税 6億7,000万円
- 都市計画税 23億2,200万円

# 特別会計

特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合、一般会計とは別に特別会計を設けています。越谷市には、国民健康保険会計をはじめ9会計あり、それぞれの執行状況は平成30年3月31日現在、次のとおりです。

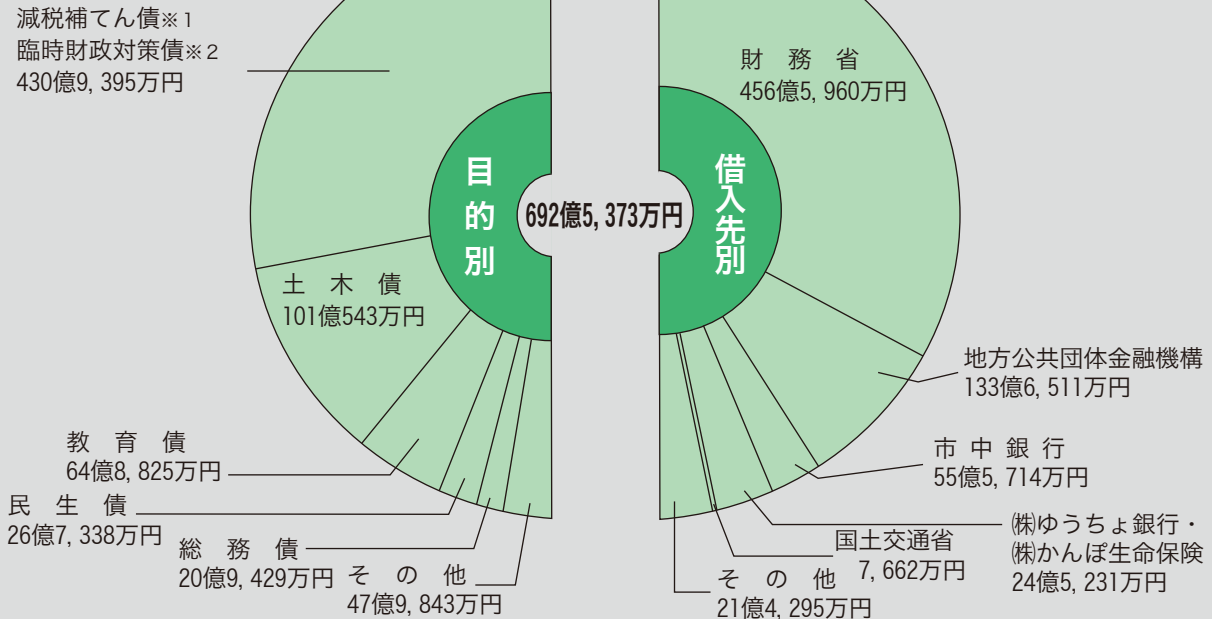
## 会計別執行状況

会計名	事業内容	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	被保険者の疾病、負傷、出産、葬祭に関して必要な保険給付事業	412億6,310万円	377億6,689万円	379億9,413万円
後期高齢者医療	老人保健制度から移行された新規事業で、75歳以上又は65歳以上で一定の障がいの認定を受けた方への医療給付事業(各市町村で徴収した保険料を埼玉県後期高齢者医療広域連合に納付し、広域連合で医療給付を行います。)	34億6,901万円	34億2,568万円	32億7,184万円
介護保険	原則65歳以上の方への必要な居宅介護・施設介護サービスなどの保険給付事業及び自立した日常生活の継続を支援していくための介護予防事業	185億9,201万円	185億440万円	168億9,293万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金	ひとり親家庭の経済的な自立を助け、生活意欲を高めるとともに、その扶養している子の福祉を増進するために資金を貸付する事業	9,925万円	1億39万円	1,425万円
東越谷 土地区画整理事業		3億6,973万円	3億6,977万円	1億4,531万円
七左第一 土地区画整理事業	宅地造成を目的とする事業で、道路、下水道、公園等の公共施設を整備して良好な住環境をもつ市街地を形成する事業	2億6,214万円	2億6,592万円	1億1,913万円
西大袋 土地区画整理事業		30億7,469万円	20億2,519万円	18億9,369万円
公共下水道事業	トイレの汚水や生活排水を処理し、環境の向上を図ることや、雨水を速やかに排除して浸水をなくし、生活の安全を守る事業	81億2,015万円	73億7,419万円	60億830万円
公共用地先行取得事業	将来、公共用もしくは公用に供する用地又はその代替地として利用する計画に基づいて用地を取得する事業	3億7,980万円	3億5,998万円	3億7,818万円

# 市債現在高の状況

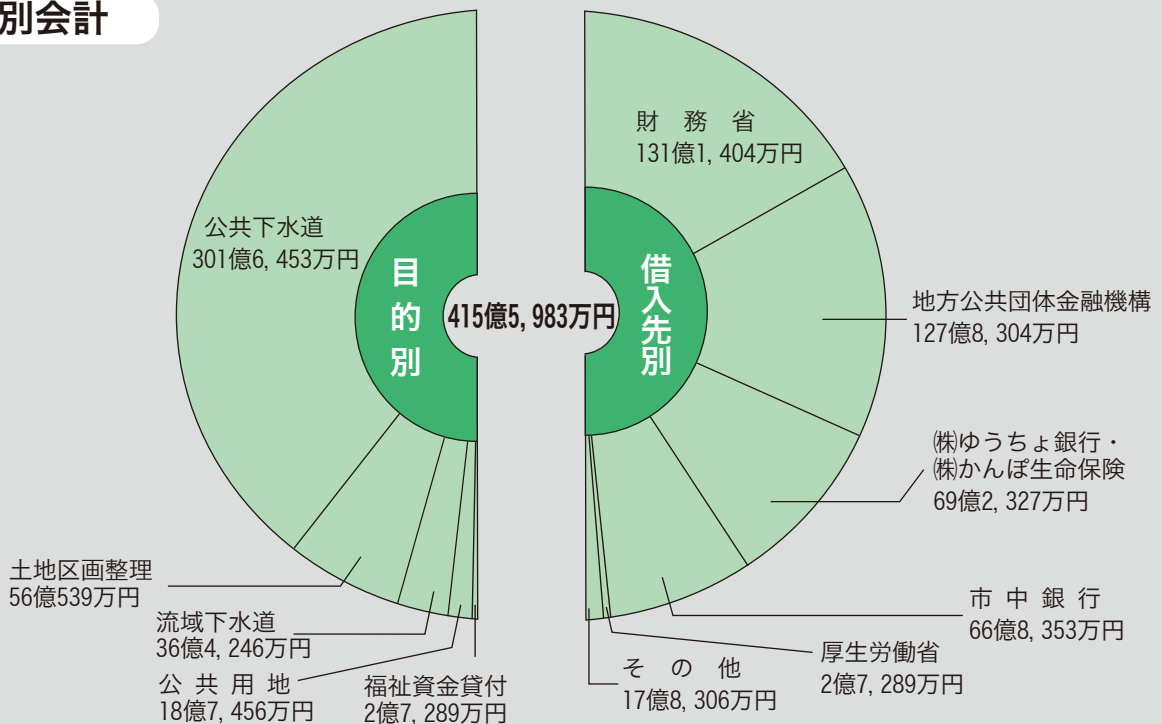
市債は、学校や道路、公園などを整備するために必要な資金を調達する際に発行するもので、後年度においてその返済義務が発生します。越谷市における未償還元金は平成30年3月31日現在、次のとおりです。なお、市債の発行にあたっては、地方交付税により財政的に措置されるものを優先的に借り入れるよう努めています。なお、出納整理期間中にも借り入れを行うため、平成29年度末現在高ではありません。

## 一般会計



※1 地方税を減税したことで生じた歳入の不足を補うための地方債  
 ※2 国の財源不足等により減少となった地方交付税交付金を補うための地方債

## 特別会計





## 一時借入金の状況

一時借入金は、支払いに対して手持ちの現金が不足した場合に、これを補うために短期間借り入れるもので、当該年度の出納閉鎖日である5月31日までに返済しなければなりません。平成29年度下半期においては、借り入れ及び現在高ともありません。

## 財産の状況

越谷市の財産には、土地、建物などの公有財産と特定の目的のために設置された基金があり、その内容は次のとおりです。

### 公有財産

行政財産…庁舎や学校、保育所などの建物や敷地など  
 普通財産…行政財産のように直接行政目的のために供されるものではなく、その経済的な運営によって間接的に行政の執行に寄与することを主な目的とするもの

(平成30年3月31日現在)

区 分		土 地 面 積	建 物 面 積	
行政財産	本 庁 舎	15,990㎡	21,187㎡	
	その他の行政機関	消 防 施 設	23,822㎡	11,522㎡
		そ の 他 の 施 設 (学校給食センター等)	74,648㎡	30,414㎡
	公 共 用 財 産	学 校	968,144㎡	322,024㎡
		公 営 住 宅	22,226㎡	10,651㎡
		公 園	1,001,595㎡	5,398㎡
		そ の 他 の 施 設 (地区センター等)	367,675㎡	171,703㎡
小 計	2,474,100㎡	572,899㎡		
普 通 財 産	116,674㎡	8,577㎡		
合 計	2,590,774㎡	581,476㎡		

### 基金

基金は、特定の目的のために積み立て又は運用するために設けられたものです。各基金の平成30年3月31日現在額や設置内容は次のとおりです。

<p><b>財政調整基金</b></p> <p>40億2,663万円</p> <p>災害復旧等の不時の支出増や経済事情の変動等の予期しない収入減などに備えるための基金</p>	<p><b>国民健康保険の保険給付費支払基金</b></p> <p>0円</p> <p>国民健康保険の保険給付費支払金の不足額に充てるための基金</p>	<p><b>土地開発基金</b></p> <p>25億円</p> <p>公用又は公共用に必要な土地をあらかじめ取得し、事業の円滑な執行を図るための基金</p>	<p><b>公共施設等整備基金</b></p> <p>23億5,000万円</p> <p>公共施設等の整備のための基金</p>
<p><b>越谷しらこぼと基金</b></p> <p>9億5,982万円</p> <p>快適で魅力的なふるさとづくりに活用するための基金</p>	<p><b>高速鉄道等整備基金</b></p> <p>9,732万円</p> <p>新たな高速鉄道や鉄道関連施設の整備を推進するための基金</p>	<p><b>介護保険給付費準備基金</b></p> <p>20億8,242万円</p> <p>介護保険事業に要する費用の不足額に充てるための基金</p>	<p><b>国民健康保険出産費資金等貸付基金</b></p> <p>1,002万円</p> <p>高額療養費及び出産に要する費用を貸し付けるための基金</p>

## 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

この表は、総務省からの通知に基づき、平成28年度における各地方公共団体の一般会計や公営企業会計などの財政状況、関係する一部事務組合などの財政状況、第3セクターなどの経営状況等について、全国統一の様式により公表しているものです。

### 一般会計等の財政状況（単位：百万円）

平成28年度

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	97,762	93,002	4,760	4,695	1,604	68,689	
2 公共用地先行取得事業費特別会計	786	786	0	—	12	2,099	
3 都市計画事業西大袋土地区画整理事業費特別会計	2,097	1,957	141	128	636	4,973	
4 母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計	80	22	57	—	—	20	実質赤字額
計 一般会計等（純計）	100,077	95,119	4,958	4,823		75,782	—

※一般会計等（純計）は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

### 公営企業会計等の財政状況（単位：百万円）

会計名	総収益（歳入）	総費用（歳出）	純損益（形式収支）	資金剰余額／不足額（実質収支）	他会計等からの繰入金	企業債（地方債）現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 国民健康保険特別会計	41,897	39,916	1,981	1,981	3,524	—	—	—	
2 後期高齢者医療特別会計	3,190	3,144	45	45	550	—	—	—	
3 介護保険特別会計	17,836	16,753	1,083	1,083	2,394	—	—	—	
4 病院事業会計	10,572	10,707	▲135	1,381	1,100	3,066	2,121	—	法適用企業
5 公共下水道事業費特別会計	8,032	7,435	597	597	2,435	36,658	21,115	—	法非適用企業
6 都市計画事業東越谷土地区画整理事業費特別会計	444	305	139	135	200	313	313	—	法非適（宅造）
7 都市計画事業七左第一土地区画整理事業費特別会計	412	339	73	72	180	601	565	—	法非適（宅造）
計 公営企業会計等				5,294		40,638	24,114		—

連結実質赤字額



関係する一部事務組合等の財政状況（単位：百万円）

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備 考
1 東埼玉資源環境組合	7,024	6,629	395	395	—	9,966	2,754	東埼玉資源環境組合会計
2 越谷・松伏水道企業団	7,491	6,196	1,295	8,402	6	14,376	14	越谷・松伏水道企業団水道事業会計
3 埼玉県都市競艇組合	62,992	59,463	3,529	3,529	—	—	—	モーターボート競走事業会計
4 埼玉県後期高齢者医療広域連合	1,551	1,512	38	38	—	—	—	一般会計
5 埼玉県後期高齢者医療広域連合	653,677	638,723	14,954	14,954	3,939	—	—	特別会計
6 埼玉県市町村総合事務組合	28,888	27,514	1,374	1,374	22	—	—	一般会計
7 埼玉県市町村総合事務組合	366	149	218	218	—	—	—	交通災害特別会計
8 彩の国さいたま人づくり広域連合	437	412	25	25	90	—	—	
計 一部事務組合等				28,935		24,342	2,768	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況（単位：百万円）

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備 考
1 越谷市施設管理公社	13	266	39	—	—	—	—	—	
2 越谷コミュニティプラザ	72	3,553	41	—	—	—	—	—	
3 ○ 越谷市土地開発公社	14	1,144	5	7	—	10,869	—	6,316	
4 ○ 埼玉県東部流通センター	9	185	159	—	—	—	17	2	
5 パルテきたこし	35	302	10	—	172	—	—	—	
計 地方公社・第三セクター等			254	7	172	10,869	17	6,318	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。



# 4つの財務書類からみた越谷市の財政

(平成28年度決算版)

※表中の数値は、表示単位未満で四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

## 貸借対照表(バランスシート)

平成28年度末時点において、越谷市全体および第三セクター等を含めた連結ベースで市の資産がどれだけあり、その資産をどのような財源(負債・純資産)でまかなってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に「資産」を表示し、右側に「負債」および資産と負債の差額である「純資産」を計上しています。

(表示単位:百万円)

資産の部(これまで積み上げてきた資産)			負債の部(将来の世代が負担する金額)		
	全体	連結		全体	連結
1 固定資産			1 固定負債		
(1) 事業用資産 庁舎、保育所、学校、福祉施設など	145,236	156,804	(1) 地方債等 公債残高のうち翌々年度償還予定額	104,935	121,656
(2) インフラ資産 道路、公園、上下水道など	222,952	266,209	(2) 退職手当引当金	9,351	9,454
(3) 物品 備品など	4,394	8,000	(3) その他 未払金のうち翌々年度以降支払予定額など	1,724	18,291
(4) 投資その他の資産等 有価証券・出資金・基金など	14,578	18,711	2 流動負債		
2 流動資産			(1) 1年内償還予定地方債等	11,484	21,391
(1) 現金預金 現金・預金など	10,685	19,451	(2) その他 未払金、未払費用など	3,345	4,219
(2) 未収金	2,774	3,382	負債合計		
(3) 基金	3,924	3,932		130,839	175,012
(4) その他流動資産	△ 85	12,249	純資産の部(現在までの世代が負担した金額)		
3 繰延資産					
	0	6	純資産合計		
資産合計				273,618	313,731
	404,456	488,743	負債および純資産合計		
				404,456	488,743

## 市の資産と負債の状況(連結ベース)



### ① 市民1人あたりの資産と負債

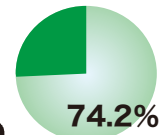
資産 負債 負債の割合  
H28 143万9千円 51万5千円 (35.8%)



### ② 道路や公園など、今までの世代で負担が済んでいるもの

H28=74.2%となります。

道路や公園など社会資本に対する、現在までの世代の負担割合(社会資本形成の世代間比率)[純資産/事業用資産+インフラ資産]で、越谷市は約7割となります。7割を現在までの世代で負担している状況にあり、将来への負担を抑え負担を先送りしないよう、健全な財政運営に努めております。



### ③ 純資産比率は

H28=64.2%となります。

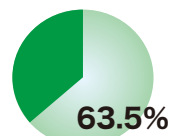
市が持つ資産のうち負債を差し引いた正味の財産の割合を示す純資産比率[純資産合計/資産合計]で計算し、越谷市は約6割となります。



### ④ 有形固定資産減価償却率は

連結ベースで平成28年度は63.5%となります。

有形固定資産のうち、償却資産の取得価額等に対する減価償却累計額の割合[減価償却累計額/((有形固定資産合計-建設仮勘定-土地)+減価償却累計額)]で計算できます。この有形固定資産減価償却率が高いほど資産の取得から年数が経過していることがわかります。



## 資金収支計算書(キャッシュフロー計算書)

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて、区分して表示することで、市がどのような活動に資金を必要としているのかを示しています。(表示単位: 百万円)

	全体	連結
<b>前年度末現金預金残高</b>	<b>9,893</b>	<b>18,204</b>
当期収支	792	1,247
(1) 業務活動収支	10,929	13,750
人件費支出、税収入、使用料収入など		
(2) 投資活動収支	△ 8,326	△ 8,043
公共資産整備費支出、資産売却収入など		
(3) 財務活動収支	△ 2,957	△ 5,611
地方債等償還金支出、地方債等発行収入など		
(4) その他の収支	1,147	1,152
歳計外現金など		
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>10,685</b>	<b>19,451</b>

## 純資産変動計算書

市の純資産(資産から負債を引いた残り)が平成28年度中にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したのかを示しています。(表示単位: 百万円)

	全体	連結
<b>前年度末純資産残高</b>	<b>265,351</b>	<b>304,134</b>
当期変動高	8,267	9,597
(1) 純行政コスト	△ 134,734	△ 157,696
純経常行政コストから臨時的な損失や臨時的な利益の影響を含めたコスト		
(2) 財源	135,313	159,658
市税、国県補助金など		
(3) その他	7,688	7,635
道路等の資産形成に充てられた財源		
<b>本年度末純資産残高</b>	<b>273,618</b>	<b>313,731</b>

○全体：一般会計、公共用地先行取得特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計、東越谷土地画整理特別会計、七左第一土地画整理特別会計、西大袋土地画整理特別会計、公共下水道特別会計、病院事業会計、介護保険特別会計、越谷市全体に越谷市土地開発公社、越谷市施設管理公社、越谷コミュニティプラザ(株)、(株)埼玉県東部流通センター、越谷・松伏水道企業団、東埼玉資源環境組合、埼玉県都市競艇組合、彩の国さいたま人づくり広域連合、埼玉県後期高齢者医療広域連合を加える。

## 行政コスト計算書

市の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが、当該年度の純粋な経常的行政コストとなり、臨時損失及び臨時利益の影響を加えたものが当該年度の純粋な行政コストとなります。(表示単位: 百万円)

### ●財務状況を、国が示す「統一的な基準」による財務書類で公表

越谷市では、市民の皆さんに市の財政状況をより理解していただくため、市だけでなく、土地開発公社、第三セクターなどの関連団体も含めた財務書類を作成してきました。

しかし、地方公共団体が作成する財務書類には、様々な方式が存在するため、平成28年度決算からは、国が示す統一的な基準で、財務書類を作成することになりました。

この「統一的な基準」による財務書類が導入されることにより、他の団体と財務状況が比較できるようになるため、より分かりやすい財政情報の開示などが期待されています。

※「統一的な基準」による財務書類は、固定資産台帳の整備を前提とする、発生主義・複式簿記の財務書類ですが、越谷市では、これまでも固定資産台帳の整備を前提とする「基準モデル」で財務書類を作成しています。

	全体	連結
<b>経常費用</b>	<b>151,372</b>	<b>187,615</b>
1 人にかかるコスト	24,847	26,217
人件費、退職手当引当金繰入など		
2 物にかかるコスト	28,889	38,430
物件費、減価償却費、維持補修費など		
3 業務にかかるコスト	3,978	4,920
公債費(利子分)など		
4 移転費用等のコスト	93,659	118,048
社会保障給付、補助金など		
<b>経常収益</b>	<b>17,341</b>	<b>30,673</b>
使用料・手数料等	14,388	20,222
<b>純経常行政コスト(経常費用－経常収益)</b>	<b>134,031</b>	<b>156,942</b>
<b>臨時損失</b>	<b>2,085</b>	<b>2,144</b>
<b>臨時利益</b>	<b>1,381</b>	<b>1,390</b>
<b>純行政コスト(純経常行政コスト＋臨時損失－臨時利益)</b>	<b>134,734</b>	<b>157,696</b>

※平成28年度決算版については、「基準モデル」から「統一的な基準」による財務書類に変更して作成したことにより、資産の評価や勘定科目等が変更されていますので、前年度との数値の比較はできません。



平成30年6月発行  
越谷市役所 行財政部財政課  
TEL048-963-9115 (直通)  
FAX048-965-8028